

◆世界遺産の国内選定地一覧（それぞれ登録順）

文化遺産
① 法隆寺地域の仏教建造物（奈良県）
② 姫路城（兵庫県）
③ 古都京都の文化財（京都府）
④ 白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県）
⑤ 原爆ドーム（広島県）
⑥ 厳島神社（広島県）
⑦ 古都奈良の文化財（奈良県）
⑧ 日光の社寺（栃木県）
⑨ 琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県）
⑩ 紀伊山地の霊場と参詣道（三重県・奈良県・和歌山県）
⑪ 石見銀山遺跡とその文化的景観（島根県）
⑫ 平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—（岩手県）
⑬ 富士山—信仰の対象と芸術の源泉（山梨県・静岡県）
自然遺産
① 屋久島（鹿児島県）
② 白神山地（青森県・秋田県）
③ 知床（北海道）
④ 小笠原諸島（東京都）

世界遺産とは
 世界遺産とは、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）に基づき、普遍的な価値がある文化遺産や自然遺産を人類全体の財産として保護することなどを目的に、選定・登録しているものです。
 世界遺産には、記念物や建造物群、遺跡、文化的景観などの文化遺産、地形や地質、生態系、絶滅のおそれがある動植物の生息・生育地などの自然遺産、これら双方を兼ね備えている複合遺産の3種類があります。

日本には17件の世界遺産
 世界遺産に登録されている件数は、981件（文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件。6月28日現在）。このうち、日本は17件（文化遺産13件、自然遺産4件。左表参照）で、最近では6月に富士山が登録されています。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、450年以上にもおよぶ日本におけるキリスト教の伝来と浸透の過程を示す代表的な事例として、「天草の崎津集落」を含む13の遺産などで構成（右図参照）。世界文化遺産への登録を

長崎の教会群とキリスト教関連遺産とは

◆「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」構成資産位置図



長崎の教会群を世界遺産へ

長崎県の取り組みとしてスタートし、平成19年に国がユネスコに推薦するための国内候補である、世界遺産暫定一覧表（通称「世界遺産暫定リスト」）に登録。天草の崎津集落は、キリスト教の歴史や文化をあらわすとして、昨年6月に同遺産の構成資産として追加されました。



天草の崎津集落

世界遺産への登録を目ざして

日本におけるキリスト教の歴史を今に伝える、河浦町の崎津地区。同地区は、『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』の構成資産として、世界文化遺産への登録を目ざしています。
 天草から世界遺産を——。今号では、世界遺産の概要や長崎の教会群とキリスト教関連遺産などについてお知らせします。「天草の崎津集落」について詳しいことは、本庁（別館）・世界遺産推進室 ☎ 231111へお尋ねください。